

## ◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：埼玉県立川越高等学校生物部

24A-31

代表者：校長 長谷川 仁

URL : <https://kawagoe-h.spec.ed.jp/>

### 1. 活動が必要とされた状況

本校において、ムサシトミヨ保護センターより譲渡された本個体を3つがいを生物室にて飼育をしているが、自然環境保護活動啓発の一環として職員玄関に現在の個体を分与して常設展示をしたい。そのために専用水槽により水温管理（15～17度）ができる水槽及び機材を購入し、生徒のみならず来校者にも展示し自然環境保護活動をより推進していきたい。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

令和3年5月より活動を開始し、本校生物部員1年生10名を中心に活動し、職員玄関前にてムサシトミヨ保護センターより分与された8個体を使って飼育及び繁殖を行い、同場所を用いて自然環境保護活動の啓発に努めた。

### 3. 活動の成果

時間的に半年なので、目立った成果は残せていないが、放課後生徒が残って世話をしていると多くの教員から声をかけられていたようである。また、事務室前という立地であったために、業者の方も興味を示し、なんであるかを知りたがるが多く見受けられた。そのため、紹介のためのパンフレットを作成し、そこに置いておくと30部が瞬く間になくなってしまった。予算に余裕ができれば、しっかりと製本をして印刷をしたい。少なくとも、ムサシトミヨという魚の知名度は上がったと感じている。ただし、「文化祭展示を通し自然環境保護啓発活動の一環とする」という目標は、コロナウイルスの感染拡大防止の一環で外部の招待者を有することができず、達成できなかった。

### 4. 今後に残された課題

できるだけ多くの人に見学していただき、環境保全の啓発につなげたいが、コロナウイルスによる感染拡大防止により、啓発活動はおろか普段の世話ですら生徒に保証できない状態である。一刻も早くこの状況を打開し、内部だけでなく外部の方々に自然環境保護の理解と啓発活動をしていきたい。そのためにも、来年度こそ一万人以上訪れる本校文化祭での展示をぜひ行いたい。

